**競技別要項【軟式野球競技】**

2023

１　チーム編成について

小学生３年生から小学生６年生で、各団１チーム、指導者５名以内、団員２０名以内とする。指導者は、令和５年度スポーツ少年団登録指導者又は、登録役員・スタッフのうち年度内にスタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会を受講予定の者とする。

　　　※必要に応じて下記のベンチ入りを認める。

スコアラー１名（団員以外とし、シートノックやマネージャー行為など記録に関する以外の行為は認められない）、熱中症対策スタッフ２名以内のベンチ入りを認めるが、試合中の交代は認めない。スコアラー、熱中症対策スタッフがベンチ入りする際は大会本部へ申請を行うこと。

２　試合方法について

（１）ブロック別に分け、各チーム２試合を行う。（ただし、参加チーム数によって変更あり。）

（２）試合は、６イニングとする。ただし、試合開始後９０分を経過した場合は、次のイニング

には入らない。ただし、同点の場合は抽選を行う。

（３）荒天の場合は、開催市町村スポーツ少年団に連絡し、開催の有無を確認すること。

３　その他

（１）参加申込後の棄権は認めない。

（２）大会参加者は、スポーツ安全保険に加入していること。

（３）雨天等大会運営に支障がある場合は、大会本部の判断により、試合のイニングを減じたり、中止したりする。

（４）ベンチは、組合せの若いチームを１塁側とする。

（５）団員の背番号は０番～２０番で、主将は１０番、コーチは２８及び２９番、監督は３０番の背番号をつける。

（６）捕手はレガース・ヘルメット・プロテクター・ファールカップを着用し、打者・走者・次打者・ベースコーチはヘルメットを着用する。

（７）抗議権（アピールに限る）は、監督だけに認める。

（８）ボークは１回目を注意とし、以後異種ボークでもボークを判定する。

（９）メンバー表の交換は、各試合の前に行う。

（１０）各チームは、審判員４名を出すこと。

（１１）各チームは（１０）のうち、球審のできる者を１名出すこと。

（１２）その他、「公認野球規則及び全日本野球連盟競技者必携」「学童野球に関する事項」を適用する。また、各グラウンドにおいては、特別ルールを採用する場合もある。

（１３）各チームの代表者はすべての責任を持つこと。また、負傷については応急処置をすること。

（１４）① 肘・肩の障害防止を考慮し、1人の投手は、1日70球以内を投球できる。試合中に70

球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。

　　　　② その試合中に70球以内なら投手が一旦他のポジションに移動し再度投手に戻ることはできる。

　　　　③走者に対しての牽制球、投球練習（試合中以外も含む）はカウントしない。

　　　　④試合中、ベンチ前での投球練習は禁止する。

（１５）抽選は各チーム９名ずつによる○×方式とする。

　　　※　抽選方法について

　　　　　試合終了時に出場していた選手により、○印・×印を記入した札を封筒に入れ、審判員立会いの上、球審が先行チームより１枚ずつ交互に選ばせ、ライトの守備選手が引き終わったら両チームの監督が封筒を集め、開票し○印の多いチームを勝ちとする。

（１６）団員章を貼付する。